

2020年度 Gondwana 地質環境研究所 (GIGE) 事業報告

2020年度(2020年1月~12月)の [Gondwana 地質環境研究所](#) 本部実施事業の概要は以下の通りである。別に [月別事業記録](#) をリンクで示した。決算報告は3月確定申告後に GIGE ホームページで公開する。

<主な事業>

1. 学生のヒマラヤ野外実習プログラム関連事業

(1) 第9回実習ツアー (SHET-9) の準備 (1月~2月)

(2) 第9回学生のヒマラヤ野外実習ツアーの実施 (3月): 実習ツアー (SHET-9) は2020年3月上旬に15日間、例年通りのプログラムで実施され、会長がリーダー兼野外地学講師として参加した。当初の参加登録者は定員オーバーの26人であったが、コロナウイルス問題のため出発直前に16人がキャンセルし、実際の参加者は学生7人と一般3人の合計10人であった。学生は北大、山形大、信州大、千葉大、横浜国大と名大で、一般は全員秋川流域ジオの会所属であった。

日本出発は、学生7人は予約していた中国南方航空がキャンセルとなり、大韓航空(関空発3日)とネパール航空(成田発4日)で、カトマンズ集合予定の一般参加者3人はタイ航空(羽田発4日)であった。実習ツアーコースは例年と同じカトマンズーポカラームクチナートールンビニーカトマンズを10日間でバスで走破した。ツアー期間は全般的に好天でヒマラヤの見事な眺望に恵まれた、実習は予定通り実施された。しかし COVID-19 問題でトリブバン大学が日本学生との共同作業を禁じたために日ネ学生の交流が全くできず、参加者の国際性や英語環境向上についても得るところが少なかったのは残念であった。

SHET-9 実施経費総額は1,829,703円であった。財源は参加者による参加費1,529,703円と2組織 (IAGR と GIGE) による寄付金300,000円で、参加費は学生1人当たり175,422円、一般は225,422円であった。



SHET-9 チーム、ダウラギリをバックに (3月)

- (3) SHET-9の報告(3月~5月): [実施報告\(概略\)](#)はGIGE ホームページで公開(3月)のほか、日本地質学会 NEWS(5月)等で発表された。総合報告書「[ヒマラヤ造山帯大横断 2020](#)」(会長編集、フィールドサイエンス出版発行 PDF 版 193 頁)は5月に発行された。
- (4) SHET-10の情宣・参加者募集、ツアープログラムの作成とツアー実施準備(5月~12月): インターネット、参加者らのSNS、日本地質学会 NEWS、地団研そくほうなどによる SHET-10 情報の情宣・公表や、国内 72 地学関係教室対象に「[ヒマラヤ造山帯大横断 2020](#)」([リンク](#))、[SHET-10 参加者募集ビラ](#)及び [SHET-10 実施プログラム](#)を送付した。しかし COVID-19 問題で参加希望者は12月下旬段階で2大学からの2名のみである。ツアー実施の可能性は日ネ両国政府の出入国規制状況に大きく左右されるので、2021年2月まで様子を見ることになった。ネパール側との連絡と情報交換・参加登録者への諸情報・注意等の送付などが8月から12月にかけて行われた。
- (5) SHET-OB・OG 有志の白馬集会: COVID-19問題を考慮して例年の SHET 参加者交歓会は中止としたが、SHET-9 参加者2名と会長夫妻が白馬分室(こもれび荘)で会合した。



SHET-9参加の信州大生2人が白馬分室を訪れた(8月17~18日)

2. 論文・書籍の執筆・投稿・発行

- ① [「日本の現存氷河—氷河の定義と分類」](#)の発行(3月、地質学雑誌、第126巻3号)。
- ② [「やまと隕石の発見 1969 年」](#)原稿の改定・発行(3月、極地第56巻1号)
- ③ 「ヒマラヤ造山帯大横断 2020」(上記)の編集・発行(3月~5月)
- ④ [「日本の氷河と世界の氷河—飛騨山脈カクネ里氷河見学会から\(後編\)」](#)の発行(9月、地学教育と科学運動84号)。
- ⑤ [「カービングスキー・加重系スキーと AACH のスキー」](#)の執筆・発行(4月~10月、北大山の会会報126号)
- ⑥ [「青少年の登山と地球科学・日本の現存氷河・学生のヒマラヤ実習・ヒマラヤの古生代造山運動・やまと隕石の発見 1969 年」](#)(2019年~2020年発行論文7編の紹介小文)の執筆・発行(5月~6月、大阪市立大学山岳会会報126号)。
- ⑦ 5月~12月:「ゴンドワナランドの集合と分裂—地球史最近の巨大事件」(5月~12月、執筆・編集作業)

<その他の主な事業等>

- 1月~12月:大阪市立大学名誉教授称号授与問題の控訴審及び上告審への取り組み
- 6月~11月:白馬分室改築工事
- 7月~12月:会長による既発表論文約20編のデジタル化、Research Gate にアップロード

2020年12月25日

吉田 勝

ゴンドワナ地質環境研究所(GIGE)会長

<http://www.gondwanainst.org/>

648-0091 和歌山県橋本市柱本147-2

E-mail: gondwana@oregano.ocn.ne.jp

Tel & Fax: 0736-36-7789



カグベニ東のテラスで、ディプロマート社代表 J. Adhikari 氏(左)と会長(右)、2020年3月